

技術革新に挑戦して80年



代表取締役社長

山下 文隆

大日本塗料株式会社は、その前身である“鉛粉塗料株式会社”を1929年(昭和4年)7月に設立以来、本年で80周年を迎えました。同年10月にはニューヨークの株式暴落をきっかけとした世界恐慌の直撃を受けるなど、まさに世界的不況のさなかに当社は船出しました。厳しい環境の中、当社を支えたのは初代社長である島津源蔵が完成した“易反応性鉛粉製造法”による鉛粉を二代目社長の根岸信が応用し“亜酸化鉛粉錆止塗料(商品名:ズボイド)”の開発でありました。鉄(構造物)を腐食から保護する塗料として画期的な発明であり、世界8カ国(日本、イギリス、アメリカ、ドイツ、フランス、イタリア、オーストラリア、アイルランド)で特許を獲得致しました。当社は創業時より、昨今叫ばれている“限りある地球資源”の保護についても、技術革新によりグローバルに社会貢献をして参りました。また当社は創業時の基本姿勢を現在まで貫き、環境対応技術・商品開発にいち早く取り組み、業界をリードしてきましたが、今後も「環境保全」、「省エネ・省資源」、「省力化・高機能化」など、“環境時代をサポートする技術革新”に精力的に取り組み、業界をリードする商品開発のスピードを早めて、ユーザー・顧客のニーズにそった製品を持続的に提供し、社会貢献に努める所存です。

「環境保全」技術分野の強化商品は、水性塗料・粉体塗料・ハイブリッド塗料・天然素材塗料・UV硬化塗料などがありますが、特に当社では、国内において、粉体塗料技術を多くの分野に展開し、水性塗料ではゼロVOC塗料・ノボクリンを業界初として販売してまいりました。昨今では、都市のヒートアイランド現象の緩和が期待できる熱反射塗料(遮熱塗料)、水系塗料の高機能化として水系無機塗料の市場展開など、注目されている新技術の開発を行っています。また、塗膜の長期耐久性を実現したふっ素樹脂塗料・Vフロンは、ライフサイクルアセスメント(LCA)で高い評価を受ける地球環境保護に貢献する技術となっています。

環境サポート技術は、当社新規事業分野の先端技術と融合し低臭気インクジェットインクの開発へと繋げました。今後、より一層、環境サポート技術の革新を図り、環境をより強く意識した企業として社会への貢献を継続していく所存です。

21世紀となった2001年より当社で開発した新技術をより多くの方々に紹介し、より良い環境社会とするためにDNTコーティング技報を発刊してきました。当社の最新の環境サポート技術・商品の一端をご紹介します。日頃ご愛顧を頂いておりますユーザーの皆様は勿論、塗料に携わる研究者の皆様に興味を持っていただき、僅かでもお役に立てますことを心から期待しております。

平成21年10月